

大会宣言

「人間力を育てて作ろう 大きな輪」～家庭・学校・地域・社会 心と心をつなげよう～をテーマに、ここ東京に、全国から1万有余名の会員が集い、第60回全国高等学校PTA連合会大会 東京大会が開催され、大きな成果を収めた。

今、子どもたちを取り巻く環境が変わりつつある。右肩上がりの成長の時代から、停滞と変化の時代に移行し、これらは家庭に大きな影響を与え、子どもたちの生活をも揺るがしている。また、少子化に加え、インターネットの普及、孤食の増加は子どもたちの社会性に大きな影響を与えている。加えて保護者の意識の変化も見逃せない。社会性の低下、消費者意識の肥大化、放任や過干渉など不適切な子どもへの関わり方など、課題が顕著となっている。

家庭の宝であり、将来の社会の担い手である子どもたちが、自律的に社会の中で生き抜き、さまざまな関わりの中で内在する才能を開花させていくことが、我々保護者の願いである。今、子どもたちに求められるものは「生きる力」、「柔軟性」、それを支える「人間力」である。そして、これらは、家庭、学校、地域が連携する中で育まれるものである。

子育ての究極の目的は、子どもたちの精神的・社会的自立にある。我々は、PTA活動の原点に立ち返り、以下の宣言を行う。

一. 子どもたちの「命」と「身体」を守る。

我々はPTA活動を通して家庭、学校、地域と連携し、子どもたちの生きる力を育み、自らの「命」と「身体」を守る知識と術を身につける活動を支援する。

一. 子どもたちの精神的・社会的「自立」を促す。

我々はPTA活動を通して家庭、学校、地域と連携し、子育ての究極の目的が子どもたちの精神的・社会的自立にあることを保護者に発信し啓発活動を行う。

一. 子どもたちの育つ「場」や「機会」を支援、提供する。

我々はPTA活動を通して家庭、学校、地域と連携し、子どもたちに内在するさまざまな能力を発揮し開花させる「場」や「機会」を提供する。

一. 子育ては親育て、子どもたちが身近に接する親、保護者が自らの「人間力」の向上に努める。

我々はPTA活動を通して家庭、学校、地域と連携し、「子育ては親育て、まずは我々自身が育つこと」を自覚し、視野を広げ、自らの「人間力」を高める活動を推進する。

一. 社会的な仕組みの整備、改善、向上への働きかけを行う。

我々は、上記の活動の中で、さまざまな社会的な仕組みの整備、改善、向上が必要と判断されるものに対し、関係諸団体への働きかけを行い整備改善に努める。

第60回全国高等学校PTA連合会大会東京大会において宣言する。

平成22年8月21日

社団法人 全国高等学校PTA連合会